

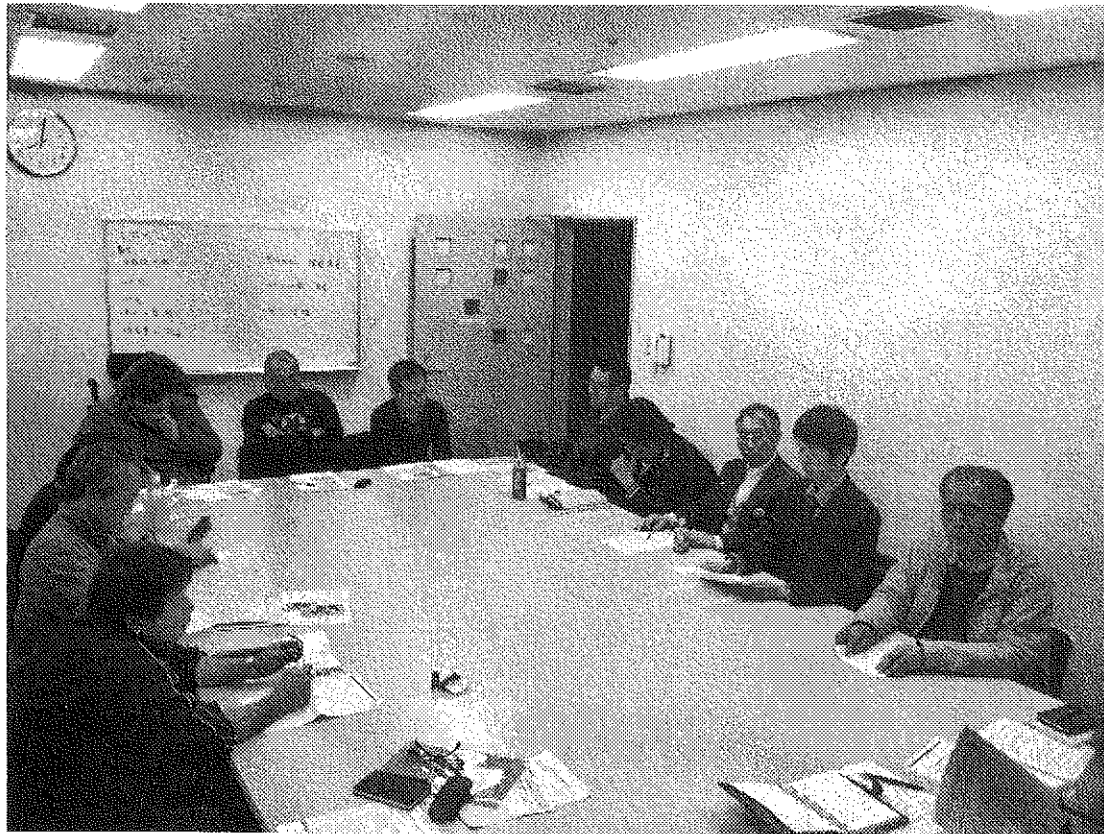


2013.4.1.

Tel 080-3451-8400

E-mail hasshoren8.zim@softbank.ne.jp

例会・運営委員会の報告



3月21日の例会では、参加者の皆さんから前回の市議との懇談会と5月の総会に向けての新しい年会費の規程について、意見交換行いました。皆さま、お忙しいなかお集まり頂き、ありがとうございました。

市議との懇談会について参加された皆さんからは、やはり議題を絞った方が、全体的に纏まりがあったのではないかという意見が多くあがりました。計画の段階では防災といった大きなテーマ故に、あえてポイントを絞らない方が横断的な意見交換になり会場

が盛り上がるのではと考えていましたが、実際のところはもうひとつ工夫が必要な印象となりました。ただし、防災というテーマについては、障害の枠を超えて全ての団体に共通する内容という事もあり、継続テーマとして次回に繋げてゆく事が望ましいのではないかという結論と

なりました。また、今年に入ってからH25年度以降の年会費の金額を自立支援法の法内事業に対応したものに改定しようと試行錯誤を繰り返してきましたが、2月にやっと骨格となる金額的な軸が決まり、今月の例会では算出方法について参加者の皆さんから貴重なご意見を頂けました。やはり論点は各団体の負担を極力減らしながらの公平な方法に関してとなり、様々な意見が長時間飛び交いましたが、最終的に意見が纏まり、算出方法についても5月の総会の時に提示できる事となりました。総会の際には質問や疑問について誠意を持って対応したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

文責：川出

訂正とお詫び

前回の通信に記載しました八王子市地域腎友会 事務局長 岩崎正宏氏のコラム『慢性肝臓病(CKD)と人工透析』にて相談先とWEB検索について記載漏れがございましたので、深くお詫び申し上げます。 文責：川出

記載漏れ箇所

【2】透析何でも電話相談（ピア・カウンセリング）＜事務局長「岩崎」へ＞

事務局長岩崎TEL：042-663-8746

なお、「八腎会」の活動状況等が記載されているWebサイト「八王子市地域腎友会」お知らせ掲示板も紹介しておきましょう。

([地域腎友会](#) [検索](#))

以上

今後のスケジュール

4月 18日 (木)	例会	18時～19時	クリエイトホール 10階	第1学習室
4月 18日 (木)	運営委員会議	19時～20時	クリエイトホール 10階	第1学習
5月 18日 (土)	総会	13時～16時	八王子労政会館	サークル室

《お知らせ》

今年度の会費の納入にご協力頂き、誠にありがとうございました。お陰をもちまして残り僅かとなりました。ご連絡のありました会員には、早急の振り込みをお願いします。

© Hasshoren Tsushin



コラム『藍作業所の紹介』

特定非営利活動法人 藍の会 藍作業所 奈良野

藍作業所は、現在多機能作業所として、生活介護18名・就労B型17名の方々が通所しています。
生活介護の方々も音楽活動・ハワイアン、等の活動をするのみならず全員が仕事をしています。
作業の中でお互いが触発し合います。

連続した仕事は、各自の出来る作業をし、次の作業者に繋がります。そのことにより、仕事に対して熱心でなかった利用者さんが、周囲の仕事をする仲間を見る事で意欲を出し、各自がこなしている仕事が、次の仕事に繋がる事を知り、積極的にになり、互いに影響し合い利用者さんが成長する場面が多々見られます。
私達の作業所で提供する作業は、受注作業が主体で、工賃は低いですが、業者が持続的に作業を入れてくれるおかげで、日々「作業がある」体制を維持できており、利用者さんの持続性や個々の成長を支えてもらっています。

また受注作業の良いところは、職員も利用者も全員が連携して仕事ができる事だと、私自身感じています。
その他の仕事としてレストランでの接客やケーキ(焼き菓子)の製造販売等の仕事があります。レストランでの接客は、地域の方々と直接対面し、つながりの中で積極的になって行く姿は頼もしい限りです。

焼き菓子は、ガレット、クッキー、パウンドケーキ、シフォンケーキ等、作れる種類が増えてきました。お菓子の販売は、レストランでの店頭販売だけでなく、ボランティアグループでの販売協力が大きいです。

仕事以外の特長としてフリーターキングの時間を設けています。

利用者さんが皆で集まり、作業の改善点や日中の諸問題について皆で意見を出し合う時間です。もちろん、全員が意見を出せるわけではないですが、ある利用者さんの発言に対して、周りの利用者さんも啓発されたり、皆で集まり、皆で決めたことについて全員が守れる雰囲気になるのは、職員の声かけ以上に利用者間のつながりの強さを実感し自分自身も学ぶ所が大です。

作業所には、地域ボランティアさんの力も欠かせません。週一度ハワイアン活動の先生をお願いしたり、作業における手助けや、行事などに参加していただき、利用者さんの日中活動のさらなる充実には欠かせない存在であり皆様の力で支えてもらっています。

更に職員間では事業所目標も設定してきました。

H17成年後見事業、H21自立支援法への移行、H22グループホーム設立、H23レストラン運営、等です。今後の2年間の目標は、仕事場として安心して通える場所の提供、耐震化された建物への移転、現在地主さんとのおあいもつき一歩前進といった所です。私達職員もグループホームの運営、法人後見事業等を通してより一層成長し、利用者さんが地域での生活を、より豊かに支援できる様成長したいと思っています。



大日本帝国海軍、連合艦隊司令長官。山本五十六の言葉です。

- ・やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。
- ・話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。
- ・やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

我が家でヘルパーに家事してもらいながら、一人暮らしを続けるにあたり、一番大事にしているコツの部分です。

私も聖人君子ではありませんから、毎週毎週、各曜日ごとに来てくれるヘルパーに、お客さんのように気を使っていたら疲れてしまいます。だからといってただ指示を出すだけの味気ないやりとりだけでは、向こうもイヤになってやめてしまうでしょう。私が八王子で一人暮らしを続けて16年に年になります。《今どきの若い者は》という言葉は、できれば使いたくありませんが、年を重ねるごとに、叱られる、ダメ出しをされることに免疫のある新人さん。ミスをしたも『なにそ』という反骨精神でやる気を出してくれる若い人が減ってきている気がしています。さりとて、腫れ物に触れるように怖々接していたり、いちいち相手の顔色を見ていたのでは、やりとりは上手くいかないし、こちらのニーズは相手に伝わりません。自立生活3年目くらいで、どうして良いかわからなくなり、人間不信で悩んでいたとき、たまたま出会ったのが山本五十六の言葉でした。ヘルパーがサービス利用者の指示に従うのは、利用者の生活を守るためのルールとしてそう決められているのであり、けっして利用者の身分がヘルパーより偉いわけでも利用者が凄いわけでもない。利用者だから、障害者だからと、ヘルパーを上から目線でいてはいけません。

大事なのはしっかりと明確に、相手にわかりやすい言葉で語ること。褒めるときも叱るときも、心の内に相手へ感謝の気持ちを忘れないことだと思っています。遅刻しようがミスしようが、サボらずに毎週我が家に来てくれるだけ、まだマジメな部分が残っているのです。どんな小さな事に対しても、感謝の気持ちが無くてはいけませんよね。

ヘルパーにイライラをぶつけるだけだった頃は、体調を維持しながら自分の毎日を無事に過ごすのが精一杯で、相手とじっくり話し合い、きちんと叱る覚悟も、しっかり感謝する気持ちもまだ弱く、小さなものでした。

山本五十六の言葉は、狭い価値観の中で煮詰まっていた私の目をさまさせてくれた、人生の貴重なきっかけとなる一言でした。

以来、障害者のことをまったく知らない、初心者ヘルパーさんやボランティアさんと話すとき、必要な事柄をどう簡潔に伝えるか、どうすれば、緊張し動揺する相手と和やかに話せるか、お礼の気持ちをどう伝えるか、という事を意識するようにしています。

コミュニケーションを取りたいと思ったら、とりあえず自分のニーズは後回し。まず相手のことを優先します。仲良くなれるきっかけを探し、ゆっくり話しあえる空気を作るところから始めます。

とはいえいまだに、これが正解、これが完璧という境地には至らず、まだまだ修業の途中であります。難しいけれど楽しい苦労ですね。

